

回答書

令和8年3月2日

件名 令和8年度放課後児童育成事業人材育成研修委託

上記件名に係る仕様書（設計）書の内容に関する質問について、次のとおり回答します。

設計図書該当箇所	質問	回答
仕様書 7 委託業務内容 ア 対面方式（ア）実施時間 2 ページ	Q1. 2 講座のみ午後開催とあるが、運営主体向けの研修でも良いのか。	A1. 現場職員向け講座を想定しています。どの講座を実施するかは別途協議の上決定します。
仕様書 7 委託業務内容 エ アーカイブ方式（ウ）対象講座 4 ページ	Q2. アーカイブ講座の対象は、「夏季におけるプログラムの企画と運営」ともう1件の2本、作成するということか。 また、研修の録画・音声処理・不要箇所のトリミングなどの工程は、映像会社へ委託することを考えているが、その認識で良いか。	A2. 仕様書内の「開催手法別回数一覧表」にあるとおり、アーカイブ方式は2回実施します。（内1回は「夏季におけるプログラムの企画と運営」） 研修動画の作成についての再委託は問題ありません。
講座一覧 2 事業所における子ども育成支援 夏季におけるプログラムの企画と運営 講座一覧 2 ページ目	Q3. 昨年度まで、「夏季における」とは付いていなかったが、夏の間、熱中症警戒アラートが出ていることで外遊びができず、遊びのレパートリーが減ることに対するの対策か。	A3. お見込みのとおりです。
仕様書 7 委託業務内容 （3）研修会場および機材の手配 6 ページ	Q4. オンライン方式は500人程度参加できるようなという形のことだが、参加者の把握ができない形でも良いか。サービスの種類によって、参加者が確認できるものと、視聴者が判別できないものがある。どちらが妥当か。 定員上限を設けないとあるが、500人が上限で良いか。	A4. 使用するサービス自体で参加者の把握ができなくとも、アンケートの提出によって研修受講を確認しますので、サービス側で自参加者が確認できなくとも問題ありません。 ただし、研修実施中に参加者に対して声をかけていただく（質問時に「カメラ」機能をオンにする呼びかけ等）対応等が必要になることは想定していますので、そのような対応が可能なサービスを選定してください。 定員上限については、過去の実績から500人を超える応募はないという想定で定員上限を設けないとしています。
仕様書 7 委託業務内容 （4）kintone放課後事務システムを使用した研修管理 エ	Q5. Kintone放課後事務システムの利用の手引きは、昨年度は委託者に作成していただいたが、今年度は受託者が作成するというので良いか。	A5. 利用の手引きは委託者において作成したものを提供しますので、それを基に必要に応じて更新や抜粋をして作成いただくことを想定しています。
仕様書 7 委託業務内容 （9）その他事務 エ 8 ページ	Q6. 上記と同じ。	A6. 利用の手引きは委託者において作成したものを提供しますので、それを基に必要に応じて更新や抜粋をして作成いただくことを想定しています。